

平成 26 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	黒野児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市古市場20番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,646,628円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:1,284.56㎡ ◇延床面積:599.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書室、勉強室、体育室、事務室 ※岐阜市立黒野保育所との合築		

●利用状況

		H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	12,232	14,381	11,764	14,956	12,009
	移動児童館利用者数	678	1,233	730	1,084	680
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	14	17	16	22	16
	開館日数(単位:日)	151	156	151	156	151

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画通り実施。 ②所長(常勤)、常勤職員3人。(児童厚生員は、所長を含め4人) ③ホームページに毎月の「おたより」と「子育てカレンダー」を掲載、中日ホームニュースに事業案内を掲載、児童館だより「わんぱく」を毎月作成、配布、乳幼児向けのおたよりの発行と配布、子育て支援カレンダーを毎月作成。 ④利用者の要望を理解し、運営。アンケート調査結果を館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。保育所休日対応のため、マニュアルに基づき警備保障器具の点検を実施。 ②就労促進事業施設整備班による屋内外清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、冷暖房節約、節水に努めた。また、地域や母親クラブの協力により集まった牛乳パックやラップの芯などを行事材料して利用した。 ④「おもちゃ病院岐阜」に児童館のおもちゃの点検、修繕をお願いし、使用期間を延長した。屋外遊具の安全点検を業者が1回、職員が毎月1回行った。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②子どもからの不審者情報は、保護者・その他来館者から確認を取り、来館児童と学校へ注意喚起した。マニュアルに基づき、警報器、警備保障器具の対応を確認した。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成27年3月子育て支援事業(幼児クラブ)に参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。 回答者数66名(100%)
利用者アンケートの実施結果	○今までに参加したクラブ名 たんぽぽひろば(1歳以上親子ひろば)35人、すまいるひろば(0歳親子ひろば)20人、ぴよぴよくらぶ(1歳半以上親子くらぶ)25人、リトミックくらぶ(1歳半以上の親子リトミックくらぶ)13人(複数回答可) ○クラブを知ったきっかけ 友人23人、ホームページ16人、館内の貼紙15人、保健師6人、子育てカレンダー11人、幼児版たより6人、その他2人 ○幼児クラブについて 満足49人、ほぼ満足17人、やや不満0人、不満0人 ○幼児クラブに参加したお子さんの様子 刺激を受けている。毎回とても楽しそう。家でもまねをしている。友達がたくさんできた。等 ○幼児クラブでお子さんが好きな活動について 体を動かす遊び、カンパジ作り、おみせやさんごっこ、絵本、紙芝居、手遊び等 ○職員の対応について 満足58人、ほぼ満足8人、 やや不満0人、不満0人
利用者からの要望・苦情と対処・改善	要望⇒回答 ○網戸がほしい。⇒体育室は、ボールの飛び出しにより網戸が設置できず、エアコンでの室温の調節となります。申し訳ございませんがご理解いただければ幸いです。 ○男の子のあそび方があぶない。危険なあそび方をしている、その子の親が誰かわからないほど放任で、うちの子もその子にケガをさせられそうになり怖い思いをした。先生方には責任はないのですが、どこに言ったら良いのかわからない。 ⇒怖い思いをさせてしまい、大変申し訳ございませんでした。お気づきの時は、遠慮なさらず職員に声をかけてください。すぐに職員が対応させていただきます。 ○常に音楽を流してほしい。⇒クラブ中などは活動の内容によって流すことが多いのですが、館内全体に、常時流しておくことは難しいかと思われます。ご理解いただければ幸いです。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<ul style="list-style-type: none"> □ 母親クラブと児童館の共催でアンケート等で希望があった離乳食の講座を開催し、参加者から好評を得たので、次年度も実施できるよう準備している。 □ 黒野小学校との連携の中で、小学校の理科の先生に講師に来ていただき、小学生を対象に「空とぶたね『アルソミトラ』を作ろう」という行事を企画し、小学生から好評を得た。 □ ホームページや移動児童館、館内掲示などで自由参加と登録制の幼児クラブと参加者が増えた。 □ 日頃のコミュニケーションの中で、利用者ニーズをつかめるよう職員全員が心がけた結果、収集した要望を小学生対象の行事や乳幼児の活動に活かす事ができ、好評を得た。 □ アンケートから出た要望を幼児クラブに生かし、改善したことで利用者から好評を得た。 □ 下半期もさらに新しいぬりえや色鉛筆を増やして幼児や小学生に好評を得た。 □ 問題行動を繰り返したり、支援が必要な子どもに対しては、子育てネットワークの委員さんや、保健師や学校(生徒指導の先生を中心)との連携をさらに密にし、地域全体で見守る体制とった。 □ 日常のあそびの中でも国際交流を深めつつ、「じどうかんまつり」など行事を進める楽しさを味わえるよう、小学生が運営に参画できる行事を企画した。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> □ 岐阜市社会福祉事業団のホームページへのリンクや、ぶりあねっと、子育て支援カレンダー、中日ホームニュース「わっちとおまはん」への事業掲載などを広報に活用した。 □ 黒野西郷子育てネットワーク事務局として子育て支援カレンダーを毎月作成し、地域の子育て支援情報を発信し、利用者に喜ばれた。 □ 利用者アンケートに寄せられた意見を分析し、取り入れ、ニーズにあった活動ができるように努力した。また、他のメニューも常に改善し参加者に喜ばれた。 □ 児童館での子どもの様子について、保健センターや小学校との連携を密にし、情報を共有して職員全員が見守り、関係諸団体と連携を継続した。 □ 中央青少年会館主催の「地域ボランティア講座」を黒野児童館で受け入れ、黒野校区以外の学校の利用者や年長児童のボランティア意識を高め、地域の活性化に努めた。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> □ 1人で育児に悩まず、黒野児童館で気軽に職員や子育て中の親さん同士と話せる機会や場所があるということを多くの子育て家庭に知っていただけるよう児童館の広報をさらに務めたい。 □ 引き続き、臨床心理士による、どなたでも気軽に相談できる機会として、毎月「育児なんでも相談」の定期開催を継続し、子育て中のお母さんの育児不安の解消や虐待防止等につなげたい。 □ 親子ふれあい教室や子育てサークルなどの機会を利用した広報を引き続き継続したい。 □ おたよりや館内掲示をさらに充実し、楽しく明るくアットホームな児童館を目指したい。

●所管課の意見

<p>毎月の「おたより」を担当校区全児童への配布のほか、ホームページの更新、ぶりあねっと、子育て支援カレンダーへの掲載、中日ホームニュース「わっちとおまはん」に行事の掲載依頼するなど、様々な広報活動を行っている。</p> <p>新規事業として、小学校との連携により理科の先生に講師となってもらい、小学生を対象に「空とぶたね『アルソミトラ』を作ろう」を開催し、また、母親クラブとの共催で離乳食講座を開催するなど、新たな試みも積極的に行っている。</p> <p>問題行動を起こしたり、支援が必要な子供に対しては、子育てネットワークの委員さんや、保健師、学校との連携を密にし、情報を共有して関係諸団体と連携をとり地域で見守る体制を取っている。</p> <p>職員体制や経営状況についても問題なく運営されている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p> <p>黒野・西郷子育てネットワーク協議会の事務局をしており、子育て支援カレンダーを配付するなど地域の活動に貢献しており、評価できる。</p> <p>駐車場の増設など施設に関する要望は対応に限界がある。駐車場については、自転車や徒歩の利用を促すなど利用者に工夫してもらうよう呼びかけることも必要である。</p> <p>また、他の施設での取組みは参考になる事例が多いと考えられるため、施設間でデータや事業内容等の情報を共有し、施設運営に取り入れるなど役立てていただきたい。</p>
--